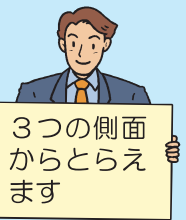


## 2

# 人権教育で育てたい力

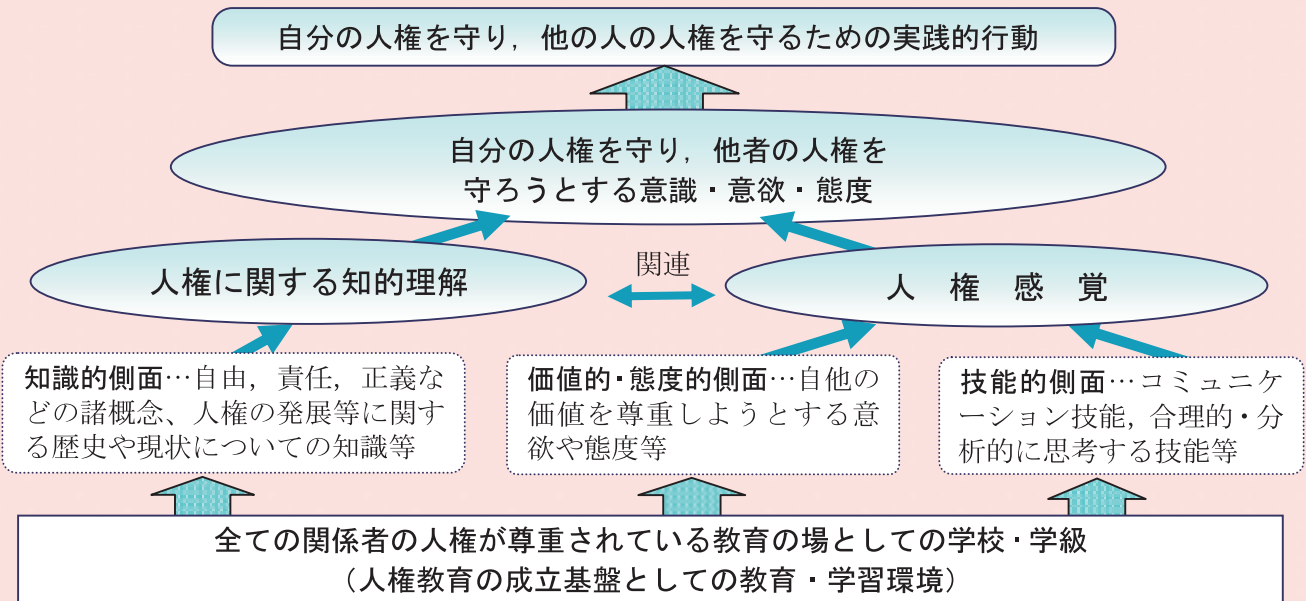


● 人権教育で育てたい資質・能力は、次の3つの側面からとらえることができます。

- ①知識的側面      ②価値的・態度的側面      ③技能的側面

## 人権教育を通じて育てたい資質・能力

(〔第三次とりまとめ〕より)



(〔第三次とりまとめ〕または「人権教育推進プラン」に、さらに詳細な図があります)

## 3

# 学力保障と人権教育は表裏一体

● 効果のある学校 (effective school) に関する研究が国内外で進められています。

これらの研究では、「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校」において、学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追究されている点に注目しており、人権感覚の育成は、児童生徒の自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占めている学力形成においても成果を上げているとの指摘があります。 (〔第三次とりまとめ〕より)

## 効果のある学校の共通点としていわれていること

- ◇ 児童生徒をその背景まで理解する
  - ・授業以外での子どもとの対話，課題のある子の家庭訪問等を大切にする。
- ◇ 一人一人を力づける集団づくり
  - ・自分は必要な人間であることを実感させる取組をする。
- ◇ 基礎学力定着のためのシステム構築
  - ・「教育的に不利な環境の下にある」子どもたちの存在を前提に，一人一人の学力を保障していく考えに支えられた学力定着のための工夫をする。
- ◇ チーム力を大切にする学校経営
  - ・教職員同士の間でも互いを尊重する態度を大切にし，指導上の課題について互いによく話し合える環境をつくり，課題に対してチームで当たる。
- ◇ 地域・家庭と連携する学校づくり
  - ・地域・家庭から協力を得るとともに，地域・家庭へ積極的に働きかける。
- ◇ リーダーシップの存在
  - ・管理職を中心として，教務主任・研究主任・人権教育主任・生徒指導主事・学年主任等が責任を明確にして取り組む。

